

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題(和文)	オーストラリア・シドニーの高齢者所有の庭に対するガーデニングサービスに関する研究
Title(English)	A Study of the Gardening Services for the Gardens of Elderly People in Sydney, Australia
著者(和文)	伊藤 美希子, 杉田早苗, 土肥真人
Authors(English)	Mikiko Ito, Sanae Sugita, Masato Dohi
出典(和文)	ランドスケープ研究, Vol. 69, No. 5, pp. 379-382
Citation(English)	Journal of The Japanese Institute of Landscape Architecture, Vol. 69, No. 5, pp. 379-382
発行日 / Pub. date	2006, 3

■ 研究発表論文

オーストラリア・シドニーの高齢者所有の庭に対するガーデニングサービスに関する研究

A Study of the Gardening Services for the Gardens of Elderly People in Sydney, Australia

伊藤美希子* 杉田 早苗** 土肥 真人**
Mikiko ITO Sanae SUGITA Masato DOHI

Abstract : This paper includes the analysis of gardening volunteering systems in Sydney, Australia. Questionnaires were distributed and interviews conducted on service staffs, clients and volunteers at the gardening service associations of Sydney, in carrying out this research. As a result, the following conclusions were obtained. 1) Garden maintenance is a big issue for elderly people and people with a disability, as 91% of elderly people have their own house and 80.3% of Australian dwellings include a garden. 2) These elderly residents rely heavily on the gardening service provided to maintain the gardens. The services are able to convert their gardens into safe and low maintenance gardens with community volunteers. 3) The services produce a “secondary benefit” that being the opportunity for the volunteers to contribute to and participate in the community with the elderly clients and friends. Additionally, they are able to develop their own gardening skills through their service to the clients’ gardens.

Keywords: garden, gardening, elderly people, volunteers, community

キーワード: 庭, ガーデニング, 高齢者, ボランティア, 地域

1. 研究の背景と目的

高齢化は現代社会が抱える大きな変化の一つであり、これは日本及び先進国も抱える世界的規模の課題となっている。オーストラリア・ニューサウスウェールズ州（以下NSW州）では行政による助成のもと、高齢者、障害者及び介護者を対象として在宅ケアの様々なサービスが提供され、その中に自宅で暮らすには欠かせない庭の手入れを行うガーデニングサービスが存在する。日本では高齢者福祉として介護保険があるが、庭の手入れは補助の対象とならない。そこで本研究では、まずガーデニングサービスの成立背景である、オーストラリアの社会福祉や住宅様式を明らかにする。その上でガーデニングサービスの活動実態を明らかにし、スタッフ、利用者、ボランティアの意識を把握し、またこのサービスの社会的意義について明らかにすることを目的とする。

既往研究ではオーストラリアの福祉制度に関する研究として、オーストラリアと日本における社会福祉及び高齢者福祉についての比較研究¹⁾やケーススタディを通して高齢者在宅福祉サービスにおける地方自治体の役割と特徴を検討しているもの²⁾、地域ケアにおけるチーム・アプローチ・ネットワーク形成³⁾についての研究がある。またアメリカのコミュニティガーデンの実態に関する研究⁴⁾は見られるものの、個人の庭を対象としたガーデニングサービスの実態について把握している研究は管見では見られない。

2章でオーストラリアにおける高齢者福祉の現状及び庭の維持管理について概観し、ガーデニングサービス発足背景を把握する。3章ではNSW州シドニーの団体を対象として文献調査とヒアリング調査から、サービスの活動実態を把握する。4章で団体スタッフ、利用者、ボランティアの意見を把握し、5章で結論とする。

2. 高齢者福祉と庭の維持管理の現状

(1) オーストラリアの高齢者への社会福祉の変遷と現状

オーストラリアは20世紀初頭には世界に先駆けて老齢年金制度が創設される等、世界で最も早く各種の社会保障給付の制度が成立した国である。社会保障全体の歴史の変遷を見ると、連邦政府成立から4つの時期にわけて考えることができる⁵⁾ (図-1)。

中でも大きな変化は1970年代に起こった施設ケアから地域・在宅ケアへの移行である。これは欧米で施設ケアから地域・在宅ケアへ理念の転換が行われた点、また財政負担が連邦政府と入所者の両方にかかったこと等が理由として挙げられる。1983年に政権をついた労働党は1985年から施設ケア部門と地域ケア部門の両方を含む総合的な高齢者ケア改革に着手し、同年に本格的な地域・在宅ケアの取り組みとして「Home and Community Care (以下HACC)」(地域・在宅ケア法)を成立させた。HACCプログラムはオーストラリア政府と州政府の合同プログラムである(表-1)。2003年12月時点でHACCが補助する団体は3000団体あり、多くの非営利団体に資金を提供し、年間70万人にサービスを提供している⁶⁾。本研究で対象とするガーデニングサービスは、HACCプログラムの「家の改修、維持管理」のサービスにあたる。

(2) 庭の維持管理の現状

オーストラリアの住宅形式は戸建住宅、テラスハウス、アパートの3種類に大きく分かれており、庭を有すると考えられる戸建住宅及びテラスハウスは、合わせて8割強である(図-2)⁷⁾。

庭を所有している場合には維持管理が必須であり、庭師を雇った場合、年間約960豪ドル以上かかると概算されている⁸⁾。また

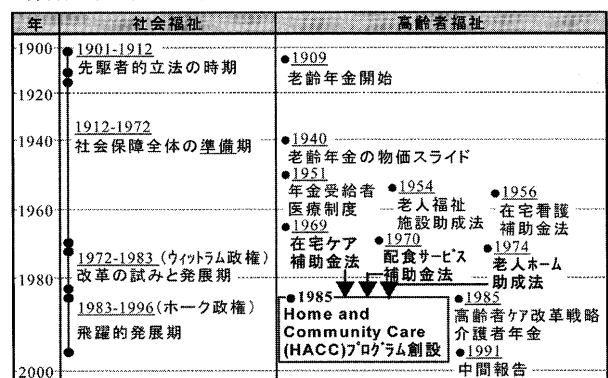


図-1 オーストラリアの社会福祉・高齢者福祉の変遷

* 朝日広告社 ** 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会学専攻

表-1 HACCプログラムの概要

管轄省	高齢・障害在宅ケア省
財源	連邦政府 60% / 州政府 40%
プログラムのねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虚弱な高齢者、障害者、介助者に対し、統合的かつ包括的な基本的維持管理、サポートサービスを提供すること ・ 生活の質の向上、不適当な長期の施設ケアを防ぐことにより、コミュニティ内において彼らの自宅より自立した生活ができるようサポートしていくこと
主なサービス	看護ケア / 健康ケア / 食事サービス / 家事補助 / 個人ケア / 家の改修、維持管理 / 送迎(運送) / 一時的(レスパイト)ケア / カウンセリング、支援、情報提供、弁護 / 査定

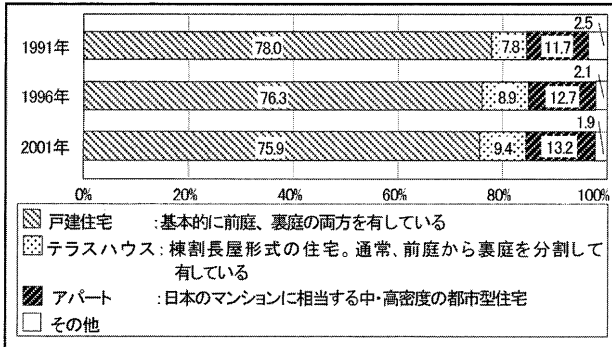


図-2 オーストラリアの住宅形成の割合

表-2 NSW州のガーデニングサービス団体

団体名	所在地	設立年
(a) Easy Care Gardening	Turrumurra	1988
(b) Easy Care Gardening Service	Dee Why	1991
(c) Lower North Shore Easy Care Gardening Service	Lane Cove	2001
(d) Garden Care	Lakemba	2002
(e) St George Easy Care Gardening Service	Rockdale	2002
(f) Randwick Gardening Care	Randwick	不詳
(g) Bankstown	Homecare service	2000
(h) Baulkham Hills Easy Care Gardening & Baulkham Hills Lawnmowing Service	Hills Community Care	不詳
(i) ECHO Neighbour Aid Service	ECHO Neighbourhood centre	1994
(j) Cronulla Neighbour Aid		不詳
(k) Leanne Haynes Project Worker	Engadine District Neighbour Aid	不詳
(l) Inner West Neighbour Aid		1994
(m) Jannali	Jannali Neighbour Aid	不詳
(n) Menai	Menai Neighbour Aid	不詳
(o) Outer Western/Blue Mountains area		不詳
(p) South East Sydney gardening Service	Mill Hill Centre	不詳

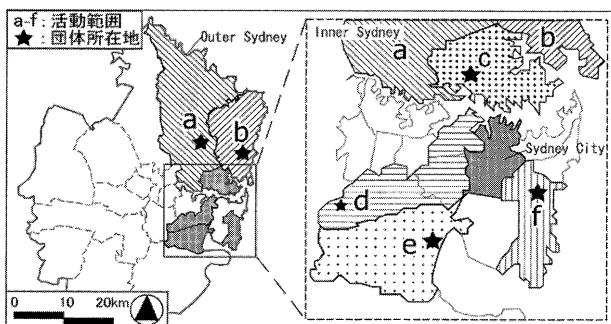


図-3 ガーデニングサービス団体の活動範囲

表-3 団体スタッフへのヒアリング調査概要

調査日時	2004年11月~1月
調査対象	スタッフ12名 [代表者各1名及び(a):チームリーダー3名, (c):チームリーダー1名, 専門庭師1名, (d):専門庭師1名]
調査時間	0.5~2.5時間
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体概要(組織/関係自治体/利用者数/ボランティア数) ・ 団体活動実態(サービス内容/ガーデニング作業内容)

高齢者の持ち家率を見てみると91%と高く⁹⁾多くの高齢者が庭を所有し且つその維持管理を行っていると考えられる。

3. ガーデニングサービスの活動実態

シドニーにおけるガーデニングサービスの実態を明らかにする為、調査対象を選定し、ヒアリング調査及び団体刊行物の文献調査からガーデニングサービスの活動実態について把握する。

ガーデニングサービスはNSW州のみに存在し¹⁰⁾16団体が活動している(表-2)。本研究ではインナーシドニーで活動する6団体(a)~(f)を調査対象とし(図-3)、これらに対しヒアリング調査を実施した(表-3)。団体概要を表-4に示す。

(1) 団体沿革及び各団体間の関係

団体(a),(b)は地域住民が自治体に助成を求め設立したサービスであり、その他団体は行政からの要請もしくは団体(a),(b)に倣って設立したものである。団体(a)は園芸療法協会の3人のボランティアが自治体に対して助成を要請し、試行的に活動した。半年後にはボランティア4人で利用者31人を抱える‘Ku-ring-gai Easy Gardening’という団体を設立し、その後HACCからの助成を得、活動地域を広げ法人化した。一方、多くの団体の設立にも関与し、現在でも設立支援を行っている。団体設立時には団体間で書類作成や作業工程の指導等支援を行い、現在では半年に一度16団体で連絡会を開き、団体間で情報を共有している。

(2) 団体の活動目的

団体(a)~(e)は前述のHACCの助成を受けている為、同プログラムの狙いに沿い、高齢者、障害者、介護者を対象として、可能な限り長い期間自宅生活が存続できるよう、安価な庭の手入れを行うことを目的としている。単に庭の手入れを行うだけでなく、利用者にとっての庭の管理作業が軽減されるよう、ローメンテナンスな庭に作り替えることも目的としている。団体(f)はHACCからの助成を得られていないが、自治体の助成によりローメンテナンスを除いては他団体と同様の目的を掲げ活動している。

(3) 団体の活動範囲と所属組織

各団体は自治体の行政区画に沿って活動しているため、行政区画内の住民がサービスの対象となる。所属組織については団体(a)のみが独立して組織化されているが、それ以外は各行政区画に存在するコミュニティセンター内に他サービスと併設されている。配食サービス等複数のサービスを受けている利用者もあり、利用者に関する情報を他サービスのスタッフと共有することができる。

(4) 団体人員及び業務内容

独立して組織化されている団体(a)は9名の専属スタッフを持つが、その他団体では専属スタッフは1~3人程である。会計業務やボランティアの雇用業務は、併設されている他サービススタッフやコミュニティセンター内スタッフによっても処理されている。

1回の作業のための業務は、経済状況及び庭の査定を行うため利用者を訪問して作業用にレポートを残し、サービスの日程調整、ボランティアの人員調整を行うことであり、各団体1利用者に対して年2回程度の訪問を実施している(図-4)。

団体は常に地域内でボランティアの雇用を行い、彼らに剪定方法等の訓練を行っている。作業時には多少の危険も伴うことからボランティアに保険をかけたり、利用者の家屋内を通り裏庭に入ることから、無犯罪証明を必要としている団体もある。

この他、利用者の庭での活動以外に、団体(b)では唯一植物の栽培スペースを所有しており、挿木や苗で増やした植物を利用者の庭に植えている。庭の手入れを行うボランティアだけではなく、この栽培を行うボランティアもいる。団体(f)ではボランティアの確保が困難なため、契約庭師を雇ってサービスを運営している。

また活動財源は半分以上がHACCの補助によるが、その他に自治体からの助成、サービス料金、寄付等がある。支出はスタッ

表-4 ガーデニングサービス団体の概要

団体	団体名	利用者数	ボランティア数	設立年	有給スタッフ数	活動範囲	人口	サービス料金(基準)	活動財源(豪ドル)	自治体の助成交付
(a)	Easy Care Gardening Inc	550	174	1988	9	Hornsby Kur-ring-gai Ryde, Hunter Hills	351,659	3豪ドル/時間×ボランティア数	259,244	32,638
(b)	Easy Care Gardening Service	170	65	1991	3	Manly, Warringah, Pittwater	216,532	35-60豪ドル	146,528	1,500
(c)	Lower North Shore Easy Care Gardening Service	200	30	2001	3	Lane Cove, Mosman, North Sydney Willoughby	169,102	60豪ドル/回	非公表	非公表
(d)	Garden care Service	120	30	2002	2	Canterbury, Marrickville, Leichhardt	263,625	20豪ドル/日	10,300	なし
(e)	St George Easy Care Gardening Service	100	21	2002	3	Rockdale, Kogarah, Hurstville	207,553	45-80豪ドル	12,600	なし
(f)	Randwick Gardening Care	50	不詳	不詳	1	Randwick	118,580	5-30豪ドル	なし	7,010

サービス料金は団体毎に基準を設定しており、各団体の料金は一般の庭師と比較すると約1/6~1/10の料金になる。この料金は作業に用いるウッドチップや雑草等の廃棄処理費に使われる。又、利用者の経済状況によって無償でサービスを提供する場合もある。なお、労働力を提供しているボランティアは無償である。

4. スタッフ、利用者及びボランティアの意識

ガーデニングサービス関係者の意識を把握する為、スタッフ12名にサービスの長所、改善点等についてヒアリング調査を行い、利用者9名に対して庭に対する意識とサービスについて対面式アンケート調査を行い¹¹⁾、ボランティアにも活動に関する意識を聞くためにアンケート調査を行った(表-5)。

表-5 調査の概要

調査日時	2004年11月~2005年1月	2004年11月~12月
調査対象	スタッフ12名〔代表者各1名及び(a)チームリーダー3名、(c)チームリーダー1名、専門庭師1名、(d)専門庭師1名〕	サービス利用者9名〔団体(c)8名、(d)1名、(f)2名〕 ボランティア59名〔143名に配布し59名回収〕
調査方法及び時間	ヒアリング 0.5~2.5時間	対面式アンケート 0.5~1.0時間 配布アンケート (回収率41.2%)
調査項目	・長所/改善点 /今後の課題	・庭に関する実態と意識 ・ガーデニングサービスに関する実態と意識 ・庭への意識(5段階評価) ・サービスに対する評価 ・活動中に得たもの ・活動への意識

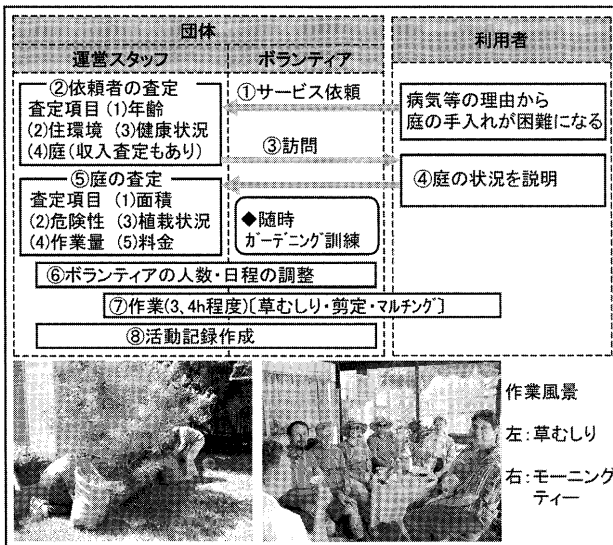


図-4 ガーデニングサービス団体の業務内容工程

フの人件費、ガーデニング道具、ボランティア雑費等がある。

(5) サービス作業人員、内容及び作業工程

ガーデニングサービスの作業はボランティアによるチームが組まれ、スタッフ又は園芸知識のあるチームリーダーを中心に、査定時に作成された資料を参考に作業分担や計画を立て作業を進めていく。またサービス利用以前の庭は手入れされず荒れている場合があり、枝が伸びて危険であったり、喘息の原因となる草が生える等、ボランティアに注意を促す必要もある。

主な作業内容は草むしり、剪定、マルチングである。草むしりや剪定作業時には、利用者に逐一確認をとって作業している場合が多い。これは、例えば植物が枯れていたとしても利用者にとっては大事な思い出であり、特に高齢ということで、世界した配偶者の思い出を残すことを希望する場合があるからである。さらに認知症の利用者にとっては剪定の決定が下せない場合もあるため、家族に来てもらうなど慎重に接している。また、マルチングは保湿を目的として行うものだが、ウッドチップの下に濡らした新聞紙の束を敷くことで半年間雑草の生えてこない庭を作り出し、同様に植物の植え方を工夫して雑草の生えにくい花壇を作るなど、利用者の日常の維持管理を軽減化させている。

作業中にはボランティアのため「モーニングティー」と呼ばれる休憩時間をとり、ボランティア同士の交流が生まれている。ここでは簡単なお菓子とお茶をスタッフが用意し歓談の時となっているが、利用者が同席することも多く、利用者ボランティアの交流の機会となっている。

(6) サービス供給料金

(1) スタッフの意識

ガーデニングサービスに関するスタッフの意見は84件あった(図-5)。サービスに関する意見(28)と、利用者に関する意見(29)はほぼ同数であり、スタッフがサービスの提供と同等に提供先の利用者に対して気を配っていることがわかる。ボランティアに関する意見(11)と各団体に対する意見(11)は同数であり、この他に利用者ボランティアの交流に関する意見(5)が得られた。

サービスに関しては資金不足など〈サービスに関する問題点〉が最も多かった。〈サービスへの誇り〉では「このサービスは素晴らしいと思いつながら運営している」との意見からサービスに誇りを持って運営していることがわかる。利用者に関しては、〈利用者の立場の尊重〉が最も多く「庭の手入れが出来ずに放っておくことしかできない高齢者はとてもかわいそう」「一人暮らしの利用者に怯えさせないように努めて友好的に接している」「歴史があるので思い出の木や花をなくさないように注意している」と高齢である利用者に配慮している。利用者が庭を所有することについて「何も考えずに庭仕事をしている時がリラックスでき、庭を持ち続けたい気持ちがある」一方、「戸建に付いてくる庭の手入れが億劫なので利用者の気持ちがわかる」など庭を持つ利点と困難さの両方を理解している。利用者に関する問題としては〈予約待ち〉が大勢いることが挙げられ、これは〈ボランティアに関する問題点〉にあるボランティアの不足が原因だと考えられる。

利用者ボランティアの交流に関しては「利用者は庭の手入れのサービスを得るだけでなく、交流という副産物も得ている。」

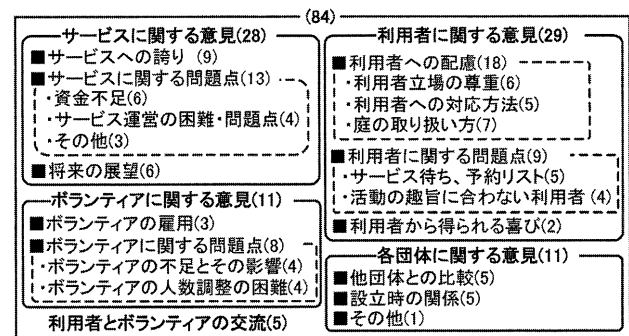


図-5 スタッフの意見

「利用者にとってこのサービスは社会的活動の一つ」との意見から、サービスの受益者である利用者はボランティアとの交流という能動的参加を行っているとの認識をスタッフは持っていた。

(2) 利用者の意識

サービス利用者の意識を表-6、表-7、表-8に示す。

利用者は皆、庭で〈リラックス〉していた。庭は〈手入れされること〉が最重要とし、サービスはそれを〈満たしている〉と考えていた。またサービスの利用後、〈庭が変わった〉と答え、「手入れが楽になった」「見た目よくなった」「安全になった」

表-6 利用者の意識 (庭)

庭で何を行うか(複数回答)	
リラックス	9
イベント	2
ガーデニング	4
庭で最も重要なことは何か	
手入れされていること	4
安全であること	2
ローメンテナンスであること	2
平和であること	1
サービスは、上記のことを満たしてくれるか	
はい	8
無回答	1
サービスとは別に誰が庭の手入れを行っているか(複数回答)	
自分自身	3
同居していない家族	3
友人	2
一般の庭師	2
誰もいない	1

表-7 利用者の意識 (サービス)

サービスを利用し庭が変わったか	
はい	9
いいえ	0
どのように変わったか	
手入れが楽になった	4
安全になった	1
見た目が良くなった	4
サービス利用時ボランティアとの交流はあるか	
ある	7
ない	1
庭を見る時、サービスやボランティアのことを思い出すか	
はい	7
いいえ	2
サービス利用後地域への親しみは増えたか	
はい	7
いいえ	1
なぜこのサービスを選んだか	
コミュニティサービスは安全そうだから	4
地域内のボランティアと会うため	0
他より安価だったから	3
その他	1
ボランティアとどのような関わりを持っているか	
会話をする	1
お茶をする	7
彼らとの関わりと庭の手入れ、どちらを楽しみにしているか(複数回答)	
交流	6
庭の手入れ	5

表-8 利用者の価値 (庭)

庭への意識	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
庭は必要だ	5	2	1	1	
庭は楽しませてくれる	6	3			
リラックスできる	5	3	1		
庭は重要だ	5	3			
ガーデニングが楽しい	3		3	3	
きちんとさせてほしい	7	2			
できるだけ手間はかけたくない	4	5			

ことから、庭の作業を軽減し且つ利用者にとって好ましい庭へと作り替えていることが伺える。ボランティアと〈お茶をする等〉の交流を持ち、利用後の庭が〈サービス、ボランティアを想起〉させ、〈地域への親しみ〉が増していた。サービスを選んだ理由として〈コミュニティサービスは安全そう〉と考えられており、この安心が能動的参加を促していえると考えられ、サービス訪問時には〈交流も楽しみ〉に感じていた。

庭への意識に関しては、〈庭は必要〉であり〈楽しんで〉いた。しかし〈ガーデニングは楽しくない〉との意見もあり、「健康な時はガーデニングが好きだったが、病気で庭の手入れができない今、もう楽しいとは言えない」ことから、利用者の健康状況が庭との関わり方に影響を与えていることがわかる。

(3) ボランティアの意識

ボランティアの意識を図-6に示す。ボランティアは活動を通じて〈サービスの必要性〉を認識し、〈サービスの提供する維持管理は役に立っている〉と思っていることからやりがいを感じていた。また活動時には〈ボランティアとの交流〉及び〈利用者との交流〉があり、サービスを通じ〈ガーデニング情報〉〈ガーデニング技術〉〈友人〉を得ており、ボランティア活動だけでなく、副産物を得ていた。

自由記述の「モーニングティでは時々長い時間、利用者のおしゃべりに盛り上がり、彼らから人生を学んだ」「サービスから得た知識によって自分の庭の

維持管理が手軽になっていくのが楽しかった」という意見からも交流と知識を得ていることがわかる。「利用者はサービスの次の訪問まで庭の維持管理を楽しみ続けることができる」「ガーデニングサービスは高い料金を支払わずに庭を楽しみ続けることができ、コミュニティとの関係を維持し続けたい高齢者にとって便利で慈善事業のようである」という意見から、このサービスが高齢者と庭の関係、高齢者とコミュニティの関係を存続させるものという認識があることがわかる。

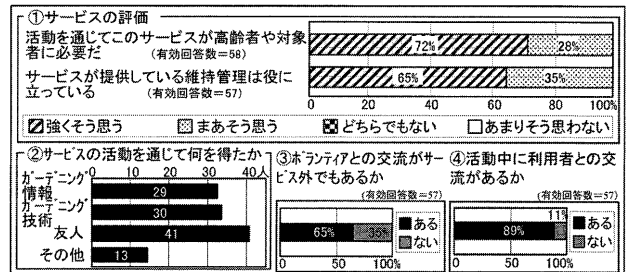


図-6 ボランティアの意識

5. 結論

オーストラリアの住宅所有において庭の管理は必然的なものであるが、高齢者が自宅に暮らす場合、自身で行うことは困難である。行政からの助成を受けているガーデニングサービス団体は高齢者、障害者、介護者を対象としてボランティアの協力の下、ガーデニングサービスを安価に提供し、ローメンテナンスな庭へと作り替えることを目的としていた。

このサービスの意義として社会福祉と地域社会の健全化の2点が挙げられる。社会福祉としては、利用者は高齢や病気を理由に庭との関わりを変えてきたが、サービスの利用でローメンテナンス且つ手入れされた庭を取り戻し、庭との関係性及び自宅生活継続によるコミュニティとの関係性をも存続することが可能となった。また、地域内のボランティアが行うコミュニティサービスという安全性が起因し、ボランティアを通じて利用者が社会活動に積極的に参加する状況が生じていた。次に、地域社会の健全化として、ボランティア同士の交流、ボランティアと利用者との交流が生まれ、それぞれ友人を得ていた。また、ボランティアは活動を通じてやりがい、ガーデニング知識、技術を得ていた。

以上、本論の結論であるが、生活空間としての庭特有の意義及び日本での事業展開の可能性に関しては稿を改めて考察したい。

補注及び参考文献

- 1) 西村淳 (1999) : 社会保障・社会福祉の歴史と現状 : 先進諸国の社会保障 2 オーストラリア, 東京大学出版会, 201-220
- 2) 舟木紳介 (2001) : 高齢者在宅福祉サービスにおける地方分権と地域民主主義の重要性 : オーストラリア研究第13号, 76-86
- 3) 副田あけみ (2003) : 地域ケアにおけるチームアプローチとネットワーク形成 : 人文学報 No.339, 37-68
- 4) 平田富士男他 (2003) : サンフランシスコ市のコミュニティガーデンの実態とガーデンコーディネーターの役割 : 都市計画論文集 No.38-3, 751-756
- 5) 前掲書1, 204-212
- 6) Program Overview : Australian Government ホームページ <http://www.health.gov.au> 2004.6.16 更新, 2004.11.04 参照
- 7) 2001 Census Data : Australian Bureau of Statistics ホームページ <http://www.abs.gov.au> 2002.11.19 更新, 2004.12.30 参照
- 8) 1 豪ドル=約 90 円 (2005 年現在)
- 9) Thomas Murrell, : "Budget for your garden" : 8M ホームページ <http://www.resources2000.com.au> 2005 年更新, 2005.1.20 参照
- 10) 団体スタッフによるとNSW州以外で同様の活動は行われていない。
- 11) 利用者への接触は複数の団体から許可されなかった。実際に接触可能であった利用者に対しても、高齢や病気の理由から、フリーのヒアリング調査を行うことは極めて困難であった。そのため選択式のヒアリングシートを用いて調査を行った。又場合によっては調査中に回答の理由について質問を行った。